

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案特別委員會會議事速記第五號

大正十二年三月十六日(金曜日)午後二時五十五分開會

○委員長(侯爵須賀正詔君) 開會イタシマス、昨日懇談會ノ儘テ散會シマシタカラ、是ヨリ懇談會ヲ繼續シマス、速記ハ是マデ、止メテ……

○委員長(侯爵須賀正詔君) 懇談會ヲ閉ジマシテ正規ノ會ニ戻リマス

○江木千之君 公私懇談會ニ於テモ續々申述ベマシタガ、市町村教育費國庫負擔法案ハ教員數ニ割當テルト云フ點ニ於テハ現行法ニモ反對イタシテ居ルンデアリマス、岡田君ガ文部大臣ノ時分ニ是ガ出ル際ニモ一方町村ノ經濟ノコトヲ考慮セラレト云テ段々申シタノデアリマスガ、教育上ノ意見ハ大部分同感デアル所ノ岡田文部大臣ニシテモ、ドウモ此地方經濟上ノコトハ考ヘナカクト云フコトヲ甚ダ其際モ遺憾ニ感ジタノデアリマス、爾來引續イテソレガ行ハレテ其結果ガドウカト云フコト餘リ面白クナイノデ、現在今度國庫ノ負擔金ヲ増額セラレ、サウシテ其配當ノ方法ヲ定メラレルト云フコトハ、町村長ナドモ東京ニ多數集メテ來テ、一方ニハ教育十一團體ト云テ東京ニ多數集メテ來テ、シテ居ル所ノ人達ガ教育ヲ整理スル餘地ガナイト云フコト運動モシ、町村長ナドモ其運動ヲ受ケテ居ルノ拘ラズ尙ホ町村長ナドハ教員數ヲ改正スルコトハ止メテ貫ヒタイト云フコトトテ特ニ其筋ニ言ヒ立ツタ位デアル、實際此教員數ヲ目安ニ入レルト云フコトハ當ヲ得ナイト云フコトハ、カノ教育家ナドノ運動ニ制セラレルニ拘ラズ町村長ナドハノコトヲ主張シテ居ル位デアル、是ガ實際ニ於テ如何デアルカト云フコトハ、是ハ町村長ナドノ申立モアリ、之ヲトスルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ此臨時教育行政調查會ト云フモノハ元ノ原首相ガ一身ノ毀譽褒貶ヲ顧ミズ、又其黨派ノ利害得失ヲ顧ミズ多年内政ノ衝ニ當リテ經驗上整理ヲシナクテハナラズト云フコトハ大ナル是ガ調査機關ヲ設ケ調査セラレタ、其機關ノ決定シタ所ノ矢張此小學校教育ニ付テハ經濟的施設ヲシナクテハナラズ、整理節約ヲシナクテハナラズト云フコトニ決定ヲシ、ソレモ唯原首相ノ意ヲ獨リ又政府部内ノ人モ長官ノ命ニ依テテナクシテ、現ニ斯ノ如クシナクテハナラズト云フ考ヲ以テ議セラレ、サウシテ此調查會ノ決議ガアリ又其決議ナルモノハ今ノ文部大臣モ之ヲ是認セラレテ訓令マデ出サレテ居ルモノデアリマス、此趣意ヨリセラレルカラ

ニハ教員數ヲ以テ配當ノ率ニスルト云フコトハ甚ダ妥當デナイノデアリマシテ、即チ此處ニ表ニ學費テアリマス通りノ例デアラフ、此表ハ朗讀ハ省キマスカラ、ドウカ此速記ハ掲ゲラレコトヲ望ミマス、將來ニ於テハ甚ダ惡イ結果ヲ見ルト考ヘル、今度ハ現行法ヨリモ違テ代用教員マデ加ヘルト云フ、之モ町村長ノ申立ニアツタヤウデアリマス、若シ教員數ヲ目安ニシナイト云フコトガ出來ナクハ、已ムヲ得ヌカラ代用教員數ニ入レテ吳レト云フコトハ、皆町村長ノ意ヲ慮ッテノ申立デアラウト思ヒマスガ、一旦代用教員數ニ入レルト云フコトニスルト、ツイ頭數ヲ殖ヤシタト云フハ我國ノ教育界ハドウモ教員ノ頭數ヲ殖ヤシタガ、テ居ル、是ハ明治初年學制頒布以來亞米利加ノ「グレイデッドスクール」ヲ模倣シタセイカ非常ニ教員ヲ澤山置キタル風ガアル、之ヲ矯正シナクハバナラズノデ此點ハ行政調查會ニ於テ餘程審議セラレテ之ヲ更メヤウトシテ居ルノデアリマスガ、今日ノ實際ハ多ク置キタルノデアアル、此法ガ出たらバドウシテモ代用教員ナドヲ殖ヤスト云フコトヲ一面ニ於テハ獎勵スルノ結果ヲ見ルデアラウト私ハ心配スルノデアリマス、ソレデ此法案ハ如何ナル點カラ見テモ教員數ヲ比率ニスルト云フコトハ私ハ當ヲ得ナイモノト考ヘルノデ全然之ヲ除キタイトハ考ヘルマスガ、既ニ衆議院モ通過シテ居リ又今日迄モ教員數ト云フモノガ加ヘテアルト云フ沿革等ニ考ヘマシテ全然削除スルト云フコトハ暫ク之ハ私モ讓テ、此歩合ヲ教員數ニ依ル方ハ五分ノ一トシ、他ノ五分ノ四ヲ兒童數ニ依ルト云フコトニ之ヲ修正イタシタイト考ヘルノデアリマス、茲ニ一ツ其修正意見ヲ提出スルノデアリマス、是ハ又此法案ガ修正サレテモ私ハ必ズ此衆議院ハ協議會迄ヲ開クマデモナク衆議院ノ多數ハ同意セラレルモノト私ハ確信スルノデアリマス、又其確信スルノ根據モ持テ居ルノデアリマスガ、願ハクナラハドウカ斯ノ如ク修正セラレムコトヲ私ハ偏ニ希望スルノデアリマス、懇談會デモ色々述ベマスルシ先日モ意見ヲ述ベマシタカラ最早長ク申スコトハ致シセヌ、又此法案ニ付テハ、大體ニ於テ私ハ出來ハ甚ダ良クナイト考ヘル、是モ過日述ベタ通り分擔法デアリナガラ今度ハ頭カラ市町村ノ貧富ヲ見テ此金ヲ配當スルコトニテ殆ド補助法ト變化シタヤウナ氣味ガアルノデ、此點モ私ハ甚ダ面白カラズ感ジテ居リマスガ、先ヅ其大體ハ暫ク措イテ今ノ配當率ニ付テハ少ナクトモ修正ヲ要スルモノト考ヘマスカラ此意見ヲ提出イタシマス

○木内重四郎君 江木サンニ御相談ヲ致シタイト思ヒマスガ、小學教育ノ改善ニ付テ熱心ナル御高話ニ對シテハ深ク尊敬イタシマスガ、御趣意ヲ徹底スル爲ニハ、小學校教員數ニ配當スルコトヲ全廢シテ就學兒童數ノミニ比例シテ交付スルト云フ修正意見ヲ御出シシニナリマスガ、ソレハ衆議院ヲ通過シタルデアアルカラ餘リニ修正ノ程度ガ強イレト云フ御考ヘデ唯今ノ御説ガ出タヤウデアリマスガ、ドウモ五分ノ一ト五分ノ四ハ餘リ修正ガ一面ニ強クテ衆議院ノ院議ヲ尊重セヌト云フ形ニナリハ致シマスマイカ、寧ロ三分ノ一ハ教員數ニ三分ノ二ハ兒童數ニトデモ御修正ニナリマスレバ或ハ衆議院ノ方ハ通過スルカ知ラヌト思ヒマスガ、如何デゴザイマスガ、サウ云フコトニ御修正ナラバ私モ贊成イタシタイト思ヒマス

○江木千之君 多數ノ御意向ガ若シソコニアリマスルナラバ私ハ前説ヲ變更シテモ宜シウゴザイマスルガ、修正案トシテ提出シテ、修正ヲシテサウシテ衆議院迄モ廻ストナレバドウモ矢張五分ノ四ニ五分ノ一位ハハッキリ茲ニ差ガツク方ガ宜クハナイカト考ヘルノデアリマス、二分ノ一ヲ三分ノ一ニスルト云フコトニナルト、距離ガ餘程近クナル、ソレ程ナラバ寧ろ修正シナクテモ宜イト云フヤウナ議論ヲ招キハシナイカト考ヘルノデアリマス、若シ御多數三分ノ一ト云フ位ノ所ガ然ルベシト云フコトデアレバ私ハ必ズシモ固執ハイタシマセヌ

○田所美治君 先輩ガ御居デニナリマスルシ色々懇談會デモ伺ヒマシタノデ、其結果トシテ意見ヲ申上ゲマス、一體此法案ニ付テハ私ハ二三ノ點ヲモウ少シ御考慮ニナタラドウデアッタカト云フコトヲ質問ノ時ニ申上ゲタノデアリマシタガ、今日ハ詰リ此教員俸給ノ半額ニ近イモノヲ支出シテ本法ガ出來タ、半額負擔ト云フ原則ヲ貫クト云フ方ニ近ヅキタイ、サウスレバ五千万以上モ出セハ恰度ソレニ合ウノデアッタケレドモ、本年ノ歲計上四千万圓シカ出セナカッタノデアアルガ、趣意ハ矢張半額ヲ負擔スル、斯ウ云フコトニ此數年來唯一千万圓デアッタモノガ急速ニ近ヅイタコトニナテ居ルノデアリマスカラ、サウスレバ此國庫負擔法ノ當初ノ立法ノ趣意ヲ明カニスルガ爲ニ半額ヲ國庫ガ負擔スルハ半額以內ヲ、歲計ノ都合デ半額ニ達セヌ場合モアリマセウガ、免ニ角サウ云フコトヲ是ハ本法ノ中ニ規定サレテハ如何デアリマセウカト云フコトモ御尋シタルデアリマス、又此三條ノ分配ノ標準ニ付マシテモ數日ニ互リマシテ或ハ兒童數ニ付テノ見テ申上ゲ或ハ又教員數ニ付テノ考モ申上ゲタヤウナ譯デアリマスガ、是モ現在ノ通り唯踏襲サレタト云フダケデ、詰リ懇

訴ノ聲モ請求ノ聲モ何モ大シテナカッタノデアアルカラ現在ノ
通りニシテ置イタト云フニ止マル、是ニ付テ江木サンガ多年
ノ教育費ノ増加ニ付テ御心配ノ結果、一昨日來修正案ヲ
出サレテ居ルヤウナ譯デアリマス、此點ニ付テ私ハ教員數ニ
付テモ亦兒童數ニ付テモ質問ノ場合ニ色々伺ヒテヤウナ譯
デアリマスガ、ソレ等ハ理想ノ考デアアルガ又能ク調査シヤウ
斯ウ云フコトデ答辯ガアツタヤウナ譯デアリマス、四條五條ニ
付マシテモ誠ニ分リ惡イ、餘リ拘泥セラレテ市ト町村トヲ區
別スルト云フ趣旨カラ、其拘泥ガ過ギテ餘リ神經質ニ規定
セラレタ爲ニ法文ノ趣旨ヲ貫徹スルト云フコトハ、實行上四
條五條デハ出來ナイヤウナ場合ニナテ居ルヤウニ思フノデ
アリマス、其一例ハ資力其他ノ事情ト云フコトヲ加ヘラレタ
規定ニナテ居ル、斯ウ云フ點モ御尋シ、ソレニ對シテハ四條
五條ノ町村ニ對シテ國庫支出金ノ十分ノ一トアルノヲ、市町
村ニ對シテ、市町村ヲ合併シテ八分ノ一トサレテハドウデア
ルカ、サウスレバ原案ニヨリマスレバ四百二十萬圓バカリニナ
ルサウデアリマスガ、八分ノ一トスレバ五百萬圓トナル、五百
萬圓位ナラバ、アト即チ四百二十萬圓ニ對シテ八十分圓位
餘裕ガアルカラ、資力其他ノ事情デアルト云フノデアリマス
カラ、ソレ等ニ對シテモ補給ノ途ガ開ケハシマイカ、斯ウ云フ
ヤウナコトヲ前々會ニ御尋シタヤウナ譯デアリマス、ソレ等ノ
點モ市ト町村トヲ區別シタ爲ニ斯ウナ譯デアルト頗ル不滿
足ナル答辯ヲ得テ居ルヤウナ譯デアリマスガ、免モ角モ此法
律ハ一十萬圓ガ四千萬圓ヲ義務教育ニ對シテ國庫ガ分擔
スルト云フコトデ誠ニ一ツハ計畫トシテハ此上モナイ私ハ國
民教育上ノ計畫デアルト存ズルノデアリマシテ、大體ハ此法
律ヲ適當ニ拵ヘテ出サレルト云フコトニ付テハモウ我々モ希
望スル所デアアルノデアリマスカラ、今ノヤウナ點ヲ將來考案
スルト云フコトデ政府委員モ答辯ガアツテ居ルノデアリマスカ
ラ、私ト致シマシテハ此法律ハマタ四千萬圓ガ五千萬圓ニ
ナル時代ハ近ク來ヤウト存ジマス、幾ラ節約ヲ一方デヤツテ
行キマシテモ人口ノ増加ニ伴ヒ學齡兒童ガ増加シテ行ク、
半額負擔ト云フ當初ノ主義ヲ此法律ガ追ウテ行クト云フ
コトニ致シマスレバ第二條ト云フモノハマタ數年ノ中ニ改正
ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトモ來ヤウト思フノデアリマ
ス、又三條ノ分配ニ付マシテモ懇談會ニ於テモ精シク江木
サンノ御意見モ承ツタノデアリマスガ、之ニ付テモ又法定數ニ
依リマシテ兒童ト教員數ヲ適當ニ見テ行クト云フヤリ方モ
出來ハシマスマイカト考ヘマス、又モウ一ツ今ノ五分ノ一五
分ノ四ニ御修正デアッタヤウデアリマスガ、ソレナラバナゼ五
分ノ一トソレヲ決メタノデアリマスガ、ナゼ兒童數ヲ五分ノ
四ニ決メタノデアアルカト云フコトニナリマス、尙ホマタ懇談

會ヲ重ネテモウ少シ其標準ヲ伺ハヌト云フト直チニ之ヲ第
三條ヲサウ云フヤウニ修正スルノモ如何カト考ヘマスルノデ
アリマス、或ハサウ云フコトヨリモ寧ロサウナラバ第六條ヲ修
正イタシマシテ、第六條「本法ニ定ムル市町村ハ立尋常小
學校教員中ニ算入スヘキ代用教員ノ範圍ハ文部大臣之ヲ
定ム」トアリマス、此儘ニ決メテ置キマシテモ、省令デ按排スル方
法モ立チ、ハシマスマイカト考ヘマスノデアリマス、色々サウ云
フヤウニ考ヘテ參リマス、今直チニ之ヲ五分ノ一トカ三分
ノ一トカ云フヤウナコトニ三條ヲ修正シマスノハ如何カト思
ハレルノデアリマス、江木サンノ御説明ノ御趣意ハ十分ニ拜
承イタシマシタシ又ソレヲ遂行イタシマス、今日文部省ガ
ヤラレテ居リマス此省令トカ訓令トカ云フモノモ、モウ一步
進ンデ其趣意ニ近ヅカシメルヤウニシナケレバ本ガ立タヌヤ
ウナ感ジモ致スノデアリマス、ソナナニ色々ノ點ヲ考慮イタシ
マス、モウ今日ノ場合ハ私ハ色々ノ缺陷ヲ感ジマスケレド
モ、此法案ニ付マシテ先程モ木場サンモ御述ベニナリマシ
タ通り、免ニ角衆議院モ通過イタシマシタシ豫算モ今日總
會ガ濟ンデ居ルヤウナ場合デアリマス、大眼目トスル四千萬
圓ノ修正ヲスル間ハナイノデアリマスウラ、當分ハ或ハ配當
標準ヲ變へ、或ハ私ノ希望ト致シマシテハ其他運用上ノ目
的ヲ達スルニ都合ノ宜イヤウニ修正シタラドウカト云フ、斯
ナニモ唯考ヘルノデアリマス、大眼目ニ付テハ固ヨリ各
位モ御異議ガナイ所ノ諒解イタシマシテ江木サンノ御趣旨
ニ付マシテハ當局者ハ尙ホ其點ニ付マシテ深甚ナ御考慮
ニナラヌト云フト、何時モ江木サンノ御希望ヲ貫クコトハ出
來ナイト斯ウ考ヘルノデアリマス、十二月ノ訓令ヲ拜見イタ
シマシテモ、是ハ唯例ヲ示シタケデ、ナツトモ、實行スルト
云フ方ノ鞭撻ノカガドコニモ現ハレテ居ラス、唯斯ウ云フ例
ヲ示スカラ、斯ウ云フヤリ方モアルゾト云フ注意ヲ喚起シタ
ニ止マルノデアリマス、其根本ガ變ラナケレバ此法律ノ配當
標準ダケヲ：現在ハ僅ニ當局ノ説明デハ七八校シカナイ
ト云フノデアリマスカラ、サウ云フモノヲ參考ニ致シマシテ直
チニ第三條ダケヲ變ヘタガ爲ニ節約ノ趣旨ガ十分ニ行キ届
ク、斯ウ云フコトニハナルマイト考ヘマス、教育費ノ増加ニ伴
ヒマシテ教育費節約ヲ御圖リニナルコトハ實ニ相伴テ缺ク
ベカラザル急務デアアルト存ズルノデアリマスカラ、二三十年前
ノ小學校令施行規則ニ付マシテ其意味ニ於キマシテ尙ホ
御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ本案ニ付マシ
テハ質問中ニ度々最初ニ伺ヒマシタガ折角四千萬圓モ出サ
レルコトデアアルカラ積極的ニモ宜イコトデアリ、消極的ニモ
無論整理節約イタシテ行カケレバナリマセスガ、小學教育
ニ於テ積極的ニ改善スベキコトガ多々アルノデアリマスケレ

ドモ、是等ニ付テモ今何モ案ガナイト云フ、當局ハ又示サヌ
ト云フ御話デアッタノデアリマスガ、是ハ文部省ト致シマシテ、
此法案ガ通過スルセヌニ拘ハラズ深切ニ一ツ時勢ニ順應ス
ルヤウナ改善計畫ヲ御攻究ニナリ、又實施サレナケレバナラ
ヌコトヲ思フノデアリマス、其上ニ此四千萬圓國庫ガ負擔シ
テ、負擔ノ輕減ヲ市町村ニ得セシムルコトニナリマスレバ、是
ハ誠ニ一ツ好イ機會デ、經費ヲ増加スルノミデハナイノデア
リマス、教育ノ改善、教員ノ力ヲ殖ヤス上ニ付テ俸給モ自然
是デ餘裕ガ生ジテ増加ノ傾ヲ見ルトハ申シマセヌケレドモ、
優良ナル教員ヲ聘スル機會ニモナリマセウシ、色々ノ國民教
育ノ内容ノ改善ニ付マシテ御ヤリニナル絶好ノ機會ト考ヘ
ルノデアリマスカラ、サウ云フモノハ此負擔法ノ實施ニ伴ヒマ
シテ切實ニ御考ヲ固ヨリノコトデアリマスガ、有テマシテ大體ニ
於キマシテ私ハ此際原案ノ通りデ、他日御改正ニナル場合
ニハ是マデ起リマシタ諸般ノ點ニ付マシテ御研究ノ上ニ
相當御改正ヲ望ムト云フ卑見ヲ申上ゲマシタ
○和田彦次郎君 段々専門ノ方ニ於テ深甚ナル御注意
ヲ以テノ御説ヲ伺ヒマシタ、私ハ至ッテ此方ニハ素人デゴザイ
マスガ一應卑見ヲ申上ゲテ採決ニ際スル所ノ意見ヲ申上ゲ
タイト思ヒマス、大體教育費ノ年々逐ウテ増加イタシマス
ト云フコトハ人口ノ増加ニ伴フ點モゴザイマスガ又社會ノ奢
侈ニ做ウ點モナシトセヌノデアリマス、斯ク年々經費ガ增加
イタシマスト云フコトニナリマシテハ到底町村ノ負擔ニモ堪
ヘズ又國家ト致シマシテモ永久無限ニ其増加ヲ補フテ行ク
ト云フコトハ隨分難事デアラウト思ヒマス、之ニ付テ私ノ素
人ナガラ根本ノ意見ガゴザイマス、ソレハ、義務教育ト云フ名
ガ付イテ居ルカラ國家ガ之ヲ負擔シナケレバナラヌト云フ意
味ヲ前提ニ置クト云フコトハ私ハ如何カト思フ、義務教育ト
云フ名ニ依テ言ヘバ、義務ハ子弟ヲ教育スルノハ父兄ニアル
ト云フノガ第一ノ義務デアアル、國家ハ第二デアアル、斯様ニ私
ハ思ヒマス、而シテ又現今ニ於キマシテ頻々唱ヘラレル：
教育年限ノ延長ト云フコトガ頻々唱ヘラレテ居リマスガ、
現時デス市町村ノ負擔ニ耐ヘズシテ非常ニ苦心ヲ訴ヘテ
居ル場合ニ、直チニ教育年限ヲ延長スルガ如キハ寧ロ火ニ
油ヲ注グヤウナモノ底止スル所ヲ知ラス、斯様ニ考ヘル、併ナ
ガラ延長其モノガ惡イコトハナイケレドモ、之ヲ實行致シマス
ルニハ相當年月ヲ措イテ何等カノ方法ニ依テ耐ヘ得ル見込
ガ確實ニ定マラス限リハ、如何ニ宜イコトト雖モ之ヲ斷行ス
ルト云フコトハ甚ダ困ル、斯様ニ意見迄モ私ハ有テ居ルノ
デアリマス、是ハ本問題トハ違フノデゴザイマスケレドモ、教
育費ノ増加ト云フ點ニ於キマシテハ私ハ一個トシテハ意見
ヲ有テ居リマスモノデゴザイマス、又江木先輩ヨリモ屢、

御望ミニナリマシタ經費ノ節約ト云フコトニ付テハ、現内閣ニ於テハ殊ニ注意シマシテ深切ニ其意ヲ説明セラレテモ居リマスルシ、私モ此意ハ最モ適切ナモノデアルト竊ニ服シテ居リマス、ソレデ經費ノ削減ト云フコトニ付マシテハ十分ニ行ハナケレバナラヌ、現在ノ儘デハイカナイ、斯様ニ私ハ思フテ居リマス、故ニ此度三千万圓ヲ増加ニナツタノモ何ガ爲デアツタカト言ヘバ、市町村ノ負擔ガ増額シテ甚ダ苦シイカラ之ヲ救済スル方法トシテハ定メラレタモノト私ハ認メテ居ルノデアリマス、致シマスレバ此市町村ノ經費ガ益々増額ニ至ラウトシテ居ル場合デゴザイマスルカラ、是ハ節約法ヲ講ズルト云フコトハ極メテ必要ナコトデアラフテ急務デアラ、此節約ヲ行フニハ種々方法モゴザイマセウシ、多岐ニ互フテ居リマスルガ、就中教員ノ給料ト云フコトニ付テ之ヲ成ルベク節約スルト云フコトハ私ハ江木先輩ト全然同一ノ考ヲ有テ居ル者デアリマス、而シテ此配給方ニ付テ教員數ヲ除キタテ、若クハ此法律ヨリ教員數ニ割當テル所ノモノノ歩合ヲ減ジタイト云フ江木サンノ御説デゴザイマシテ之ニ賛成致シタイト思ヒマスル、今朝御市ニナリマシタ所ノ表ニ基キマスルト「ハ」ノ例カラ申上ゲマスレバ、正教員六人之ガ甲村ノ例、又乙村ニ於テハ四人ト云フ例、等シク八十圓ノ給料デゴザイマス、是ハ六人アル者ハ四人ニシ、四人ニ出來ヌモノハ五人ニ止メル位ノ節約ヲ致サレタイト私ハ考ヘマス、斯ク節約スルト云フテモ教員數ニ割當テル所ノ補助額ガ、此度ノ法律ニ依テ出ル以上ハ四人ノ所ハ六人ニスルカモ知レヌト云フ江木サンノ御説ガゴザイマスルケレドモ、之ヲ實際ノ町村ノ經濟カラ推シテ考ヘマスレバ、六人ニ致シテ居ル所ノ者ハ七百二十圓ノ補助ヲ受ケマシテモ年額四千四百圓ト云フモノヲ要シマス、又四人ニ致シテ居ル所ノ者ハ僅ニ四百八十圓ホカ補助ヲ受ケマセヌケレドモ年額三千三百六十圓デ済ム、サウスルト六人置イタ甲村ト四人置イタ乙村トフ比較致シマスレバ、四人置キマシタ分ハ確ニ節約シタ所ノ效能ガ現ハレテ居ルノデアリマス、年額ノ上カラ申シマスレバ現ハレマス、又「ロ」ノ例カラ申シマスレバ、正教員六人ト正教員四人トノ例モゴザイマスル、是ハ前ニテスラ節約シタ方ハ節約シタ利益ガ確ニ見ラレルノデアリマスルケレドモ、「ロ」ノ分デ敢テ茲ニ申上ゲル必要ハナイト思フ、更ニ「イ」ノ例ニ依テ之ヲ申上ゲマスレバ、甲村ニ於テ正教員三人代教員ガ三人都合六人、而シテ甲村ノ分ノ正教員ハ六十圓ノ給料ヲ取ル、代教員ハ三十圓ノ給料ヲ取ルト見積シテ合計ガ二百七十圓一箇月ニ要ル、又乙ノ村ニ於テハ正教員四人デアラフテ八十圓デ三百二十圓ニナル、斯様ナ綿密ナル表ヲ得マシテ精査致シマスルニ、第一私ハ茲ニ疑念ヲ有チマスノハ、甲ノ正教員ハ六十圓デ乙ノ村ノ正教員ハ八十圓此間二十圓違

フ今正教員數ガ過多デアラフテ之ヲ雇ウ人ガ少イナラバ或ハ後カラ申出タノデアラフテ、二十圓廉クテモ仕方ナイト云フノデ六十圓デ甘ンズルカモ知レマセヌガ、今日ハ正教員ガ少クテ奪合ヒノヤウナ場合デゴザイマスルカラ、一箇月六十圓ノ手前デ二十圓モ違ウト云フテハ恐ラク是ハ容易ニ安イ甲ノ方ヘハ正教員ハ行クマイト思フガ、絕對ニ無イ例デハゴザイマセヌケレドモ、恐ラク是ハ江木サンニ於キマシテモ此一ツノ例ヲ明カニ簡明ニ示ス爲ニ之ヲ御示シナツタコトデアラウト思ヒマス、多クノ場合ニ於テ正教員ト二十圓ノ違ヒト云フコトハ有リ得ルカ否カト云フコトヲ私ハ素人デテヨツ分リマセヌガ、併シ先輩ノコトデゴザイマスルカラ斯ウ云フ場合ガアルデゴザイマセウ、多々アルモノト私ハ之ヲ善意ニ之ヲ迎ヘテ解シマス、果シテ斯ウ云フ場合ニナリマスルト甲ノ村デハ一箇月二百七十圓乙ノ村ガ三百二十圓ニナリマス、三百二十圓多ク出シテサウシテ正教員ヲ四人ニスル、片一方ハ少ク出シテ代教員ヲ用ヒテ居ル、斯ウ云フコトハ、是ハ江木サンノ言ハル、所ノ多ク出シテ四人ヲ用ヒルヨリハ少ク出ス方ノ側ニ獎勵スル方ガ宜イノデ、政費節約ト云フ意味カラ申シマスレバ、成ルベク削減スル方ニ之ヲ持テ行カケレバナラヌノデアアル、デ此例デ申シマスレバ、斯様ナコトガアリトスラバ當局者ハ宜シク矯正セラレ訓示セラレテ之ヲ廉イ節約ノ方ヘ導カル、コトヲ當局者ニ向テ私ハ願フノデアリマス、又一説ニ頭數ニ依テ補助ヲ得ルト云フコトニナラバ今迄少ナイ所ノ小學校ガ、多クノ教員ヲ得ルヤウニ努メルカモ知レヌト云フ御説デゴザイマスルガ、ソレハ或ハナイトハ限リマセヌケレドモ、假リニ四十圓給料ヲ取ル教員ヲ一人増シテ、サウシテ一人一年二百二十圓ノ補助ヲ受ケルト致シマスレバ、如何ニナルカト云フニ、四十圓ノ給料一人一箇年ノ總額ハ四百八十圓、其四百八十圓ニ對シテ二百二十圓貫テ三百六十圓足シガ行クト云フコトニナリマスカラ、必ズシモ此頭數ガ殖ヘレバ、補助金ガ取レト云フノデ、多クナラウトモ私ハ想像セヌノデアリマス、故ニ本案ニゴザイマスル、半半ト云フコトノ歴史ヲ聞イテ見マスルト、是マデノ教員ノ供給云々ト云フ履歴モゴザイマセウデアリマスカラ、此度ハ教員ノ頭數ニ係ルノデナク、半分ハ就學兒童ノ數ニ依リ半分ハ教員數ニ依ルト云フコトニナテ居リマスノデ、其半分ノ教員數ニ依ルト云フ點ガ、唯今、先般ヨリノ説モ、出テ居リマスルケレドモ、以上述べマセウナ點ヲ考ヘテ見マスルト、サウ甚ダシク違ヒモアルマイ又將來ニ於テモ江木先輩ノ言ハレマ

ス通りニ二學科一教授若クハ三學科一教授、六名ノ所ヲ四名ニシ、ソレニ次ガ所ハ六名ノ所ヲ五名ニスル位ニシテ成ベク經費節約ト云フコトヲ努メラレ、又當局者ニ於テハ之ヲ十分ニ御論シナリ、實效ノアルヤウニ當局者ニ於テモ努メ

ラレンコトヲ私ハ望ミマスル、此場合ニ於キマシテハ原案通り此第三條ニ割振ルト云フコトハ賛成イタシマシテ原案ノ趣意ノ決定サレンコトヲ望ミマス、一應私ノ意思ハ、節約ハドコマデモ重ンズル意思ヲ持テ居ルト云フコトヲ明カニシテ原案ニ賛成イタシマス

○木場貞長君 私ハ江木君カラ御提出ニナリマシタ修正案ニ遺憾ナガラ反對スルモノデアリマスガ、江木君ノ御精神殊ニ其教育費ノ節約ヲ要スルト云フコトニ付マシテハ全然御同感デアリマス、近年教育費ガ非常ニ増加致シマシタノハ、主タル原因ハ無論物價騰貴ト云フコトニ胚胎シタコトデアラカモ其結果トシテ教員給ガ倍額以上ニモナテ居リマスカラ、斯様ナ膨脹ヲナシタト云フコトハ少シモ怪シムニ足ラヌコトデアリマスガ、何レ其中ニハ物價下落ノ時モゴザイマセウカラ、文部當局ニ於キマシテハ十分御注意サレテ其節約ヲ此方面カラ御圖リ下サルト云フコトモ必要デアラウト思ヒマス、一體其教育費ガ或ル意味カラ申シマスルト、實ハ贅澤ニ流レテ居ナイトハ言ヘナイ、先年教育費節約ト云フコトヲ中央政府デ圖ラレタ時ニ、教育者ノ殆ド全體ガ舉ゲテ之ニ反對シテ、是マデモサウ節約スル餘地ハナイト云フコトヲ申シタガ、蓋シ此意味カラ申シタモノト思フ、唯節約ヲスルト云フコトヲ申シマシテハ到底彼等ハ節約スル氣ニナレナイ、併ナガラ今度ハ此國庫負擔法ガ出マシテ政府カラ交付サレル所ノ金額モ四千万圓ニナツタコトデアリマスカラ、餘程ワレデ教育者ノ考モ違テ來ル、稍、節約ノ出來得ル限リハ節約シヤウト云フ氣ニモナラウカト思ヒマス、教育費ハ今申上ゲル通り物價騰貴ノ結果デ増加シタノミナラズ、國民ガ殖ヘテ就學兒童數ガ年々殖エテ行ク以上是モ亦教育費ノ負擔ヲ重カラシムル大原因デアリマス、一箇年ニ四千乃至四五千ノ學級ガ殖エルト云フコトニナリマスカラ、年々ドウ致シマシテモ三百万圓カラ四百万圓ト云フ金、是ガ爲ニ教育費ニ加重シテ來ル譯デアリマス、年々積リマスルト十年ニスレバ三千万五千方ト云フ金ニナルノデアリマスカラ、此財源ニ付イテモ深く考慮ヲ要シナケレバナラヌノデ、教育費ヲ節約シテ見テモナカカ之ニ追テ付カナイ、私ハ此意味ニ於キマシテ國民ノ負擔力ヲ増加スルト云フコトガ急務デアルト思フテ居ル、唯今義務教育ノ年限延長ト云フコトニ付テ反對ノ御意向モアリマスガ、私ハ此財源ヲ培養スル必要カラ言テモ、國民ノ教育ヲバ増進セシメテ一層優良ナル人士トナサネバ斯様ニ年々増シテ來ル所ノ費用ハ足リルモノデナイト考ヘテ居リマス、何レニナリマシテモ積極的ニスルコトガ出來ル時ニナレバ、教員デモ節約シテ斯様ニ年々増シテ來タ所ノ國民ノ負擔ヲ輕ウスルコトヲ圖ルト云フコトガ、斷ニ落ナルコトデアリマスカラ、當局ニ於キマシテハ

貴族院市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案特別委員會議事速記第五號

大正十二年三月十六日

三

因果ヲ御メテサウシテ成ベク節約ヲ圖ラレバヤウニ御努力アラムコトヲ私ニ於キマシテモ切望シマス、申ス迄モナイデスガ教育ハ教育一天張りカラ申シマスレバ、マダマダ澤山金ヲ使ハナクチャナラヌノデアリマスケレドモ、金ノ問題ト始終是ハ見合シテ行ハナクチャナラヌコトデアリマスカラ、教員數ノ如キモ一學級一教員而カモ其教員ハ優良ナル教員ト云フモノガ理想デアリマスケレドモ、金ガナイ、國民ノ負擔ニ堪ヘナイト云フヤウナ所カラシテ段々節約ヲ圖リ、教育者ガ此節約ヲ圖レバ教育ノ效果ガ減退スルト云フコトヲ申スノハ、是ハ教育一天張りカラ申スノデアリマスカラ是等ハ間違テ居ルト云フコトヲ能ク悟ラシメナクチャナラヌ、併ナガラ整理シテ人數ヲ少ナクスルト云フノガ教育ノ理想ダト云フヤウナコトハ是ハ間違テ居ル、確カ減退シテ居ル減退シナケレバ行カナイ、丁度我々ノ家庭ニ於キマシテ子供ヲ教育スル時デモ、段々高等ナ學校マデ卒業セシメテ洋行マデセシメルト云フコトガ理想デアル、併ナガラサウ行カヌノデアリ見合ハセル、大學モ見合ハセル、高等學校モ見合ハセル、中學校モ満足スル、中學校ニモ行ケナイ、小學校モ満足スル、皆ナ是ハ家庭ノ資力ト照シ見テノ結果ニ外ナラヌノデアリマスカラ、國家ノ教育ト云フテモ、ドウ致シマシテモ此兩面ノ經濟ノ事ト教育ノ事ト双方見合テ適當ノ所デ落テ付カクナクチャナラヌト云フコトニナル譯デアリマス、斯様ナ次第ゴザイマスルカラ江木君ノ教育費ヲ出得ル限リ節約スルト云フコトニ付テハ滿腔ノ贊意ヲ表シマスルガ、併ナガラ此問題ノ法案ニ付マシテハ寧ろ原案ノ方ガ宜シクハナイカト思ヒマス此金ノ出ル精神ガ元々此教員給ヲ補助シテ其教員給ノ一部ヲ負擔スルト云フ所カラ出テ居リマスカラ、教員ト云フモノト九デ線ヲ離レテ規定ヲ設ケルト云フコトハ、ドウモ當ラ得ヌ、教員ノ方カラ割出シテ最高率ヲ高メルトナリマスルノ俸給ヲ標準トスルコトニスルト却テ富裕ナ市町村ガ割ガ良クナリ過ギテ貧弱町村ガ非常ニ菲薄ナ配當ヲ受ケルト斯ウ云フコトニナル、ソレデアリマア教員數ト云フコトガ自然ノ結果デアリマスルガ、併ナガラ只管教員數ニ依ルト云フコトニスレバ教員數ガ幾分カ殖エテ居ル、其傾向ヲ有スルト云フコトハ是ハモウ否定出來ヌコトデアリマス、併ナガラ此教員數ガ増加スル傾向ヲ持ツトハ申スモノ、教員給ノ全部デアレバ非常ニ殖エマス、各教員ノ俸給ノ全部ヲ補助シテヤル……國費ヲ以テ負擔シテヤルト云フコトニナレバ必ズ其結果タルヤ教員ハ非常ナ數ニナテ來ル、所ガ其一部ヲ負擔シテヤルト云フコトデアリマス、一部ハ矢張り町村ガ負擔シナクチャナラヌコトニナテ來ルノデアル、而モ今日ノ場合デアリ教員一人ニ對スル國庫負擔額ハ僅カニ十圓ト云

フコトニ承ハテ居リマス、サウスレバ今日ノ教員給ハ正教員ニ於テハ確カ平均六十圓位ニナテ居ルト思ヒマスガ、假令代用教員ニ致シマシテ所デ三倍ヤ四倍ノ俸給ヲ要スルノデアルカラ、僅カノ補助ヲ受ケルガ爲ニヨリ多クノ町村ノ負擔ヲ増スト云フコトハ是ハ敢テシナイコトデアラウ、是ハ既ニ同僚ノ中ニモ先刻御指摘ニナタコトデアリマスガ、サウデアリマスルカラ節約ノ精神ハ十分持ツ必要ガアルケレドモ教員數ニ依テ配當スルト云フコトハ強チ不當ハナイ、併シシレダケ行キマシテハ稍、穩カナラヌ所ガアリマスルカラ、町村ノ就學兒童數ヲ緩和劑トシテ、國庫支出額ノ半額ダケハ兒童數ニ依ル半額ダケハ教員數ニ依ルト云フコトハ却テ適當ナコトデアラウカト思フノデアリマス、色々綿密ナ表ヲ江木委員カラ調製シテ御出シニナリマシタガ、此表ニハ先刻懇談會ノ際ニ文部當局カラ指摘サレタ通りニ少シ正確ノ缺イテ居ル所ガアル、町村ノ受ケル所ノ配當金ハ教員給ノニ依ラズニ、兒童數ニモ依ルノデアリマスカラ、此比例ハ餘程正確ヲ得テ居ナイト云フコトガアルノト、又教員給ノ數字ナドハ如何様トモ是ハ出來ルノデアリマスカラ、是ハ數字ハ六十圓平均ノモノト見ヤウトモ八十圓平均ノモノト見ヤウトモ、七十圓平均ノモノト見ヤウトモ、是ハ想像デアリマスノデ、想像デアリタ數字デアリマスカラ結局判斷ノ資料トスルニ足ラナイト私ハ思フノデアリマス、ソレデアリ實際ノ所ハ此法律ガ行ハレテ一二年モ配當ヲシテ見ルト、其結果ハ分テ來ル、若シ此配當方法ガ不都合デアルトスレバ是ハ速ニ御改正ニナテ一向差支ナイコトデアル、年々改メテ宜シイ、後年度ニ及ボスコトガ無イ事柄デアリマスカラ、不都合ト見タラ其際ニ改正ヲサレテ一向差支ナイヤウニ思ヒマス、私自身ノ考ニ依リマスレバ、或ハ教員數ヨリハ學級數ナドガ宜シイト云フ結果ニナルカモ、知レマセヌケレドモ、是モ想像デアリマスカラ、敢テ學級數ガ宜イトハ斷定シマセヌケレドモ、若シ法律ノ結果ガ面白クナイト云フコトデアレバ、學級數ニ依テ配當スルト云フコトモ一ツノ考デアアルマイカト思ヒマスガ、是ハ他日ノ爲ニ唯附加ヘテ置クノデアリマス、要シマスルニ今日ハ衆議院モ通過シ又豫算モ既ニ豫算會デハ假決議ニナテ居ル場合ニ、其豫算ニ此事ハ關係モ持テ居リマスカラ、暫ク原案ニ贊成スルコトヲ至當ト認メマシテ、遺憾ナガラ修正案ニハ反對イタスノデアリマス

○男爵千秋隆君 私モ此法案ニ付キマシテ一言申述ベタイト思ヒマス、先刻來又此前ノ委員會等ヨリ、或ハ懇談會其他ニ於テ、江木君之君ノ誠ニ尊敬スベキ教育將來ノコトニ付キマシテ御憂慮ノ御説ヲ縷々拜聽シマシテ誠ニ御尤モニ存ジマス、而シテ江木君ノ仰セニナルガ如ク、教員數ニ配當スルト云フコトヲ削除シテ仕舞フト云フコトハ江木君ノ御意見トシテハ誠ニサウナレバ徹底デアラウト考ヘルノデアリマスガ、併ナガラ今日之ヲドウ云フ振合ニ分ツカト云フコトハ甚ダ困難ナル状態デアルノデアリマス、而シテ今日此會期モ切迫シテ既ニ豫算モ一方ニ於テ通過シヤウトシテ居ルヤウナ際ニ於キマシテ、今日之ヲ深ク考慮シテ審査スルト云フ暇モナイノデアリマス、而シテ田所君ガ御述ベニナリマシタ如ク、此法案ニ付テハマダ文部省ニ於テ十分ニ御審査ニナテ提出サレタヤウニモ考ヘマセヌノデ、例ヘバ之ヲ如何ナル方法ニ依テ適當ニ修正ヲシヤウト云フヤウナ事柄ニ付テ、當局等ニ於テモ的確ナル意見モナシ、我々ニ於テモ今日之之如何ナル振合ニスルト云フ點ニ付テモ十分ニ考ヘラナイノデアリマス、併ナガラ江木君ノ仰セニナタ、例トシテ御示シニナタ、イ、場合ノ例ニ於キマシテハ、代用教員ヲ用ヒテ數ヲ殖ヤスト云フヤウナ事柄ニ付テハ、甚ダ面白クナイ事態ヲ生ズルヤウナ場合モアリマスルカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、政府ノ方ニ於キマシテハ、此法案ガ愈可決サレタト云フ場合ニ於テハ、十分ニ御注意ニ相成テ、江木君ノ御趣意ニ副フヤウニ所謂節約スベキモノハ節約シ、而シテ之ヲ十分ニ完成ニ至ラシムルヤウニ、或ハ更ニ改正案デモ御出ニナルト云フコトモアレバ誠ニ結構ダト思ヒマスガ、私ハサウ云フ意味ニ於キマシテ、江木君ノ御修正ト云フ意見ヲ體シテ、今日ノ場合ハ已ムヲ得ズ原案ニ贊成ヲ致シマスカラ、其意味ノコトヲ申上ゲテ原案贊成ト云フ意思ヲ表示イタシテ置キマス

○江木君之君 段々御伺ヒマシタガ此御廻シ申シマシタ表ニ付テ仔細ニ御覽下ス、其點ハ私ノ深ク謝スル所デアリマスガ、然ルニ此、イ、例ニ付テモ我ハ甲村ノ方ガ是ガ節約ニ寧ろナルデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御解釋ニアツタ方モアルヤウデアリマスルガ、是ハ私共今日ノ弊ト考ヘテ居ル、私ハ安イ教員ヲ頭數ヲ澤山備ヘテヤルト云フコトハ教育上ノ效果ハ最モ乏シイノデアル、立派ナ教員ガ、數ガ少ナクトモ立派ナ教員ノ揃フ方ガ即チ改善サレタモノトシテ此表ハ製シタノデアリマスガ、從來ドウモ各學級ニ一人詰ラヌ教員デモ、代用教員デモ一人置ケバ宜イト云フヤウナ風ハ誠ニ我國ノ弊デアラウト考ヘマスルノデアリマス、デ此乙村ノ如キモノハ、イ、例デアリマシテ、如キモノガ甲村ノ如クナルコトヲ私ハ甚ダ憂ヘルノデアル、成ルホド國庫ノ負擔金ノ配當ガ差ガアルト云フ、テサウ大シタコトデアリナイト申サレマスガ、町村デハ隨分是等ノコトモ、此、イ、例デアリマシテ、比レバ無論甲ノ方ニ依ラウト云フコトハ町村ナドモ起リ易イ、今日ハ此弊ニ陷テ居ルノデアリマスカラ、私ハ乙村ト云フモノハ餘程改良セラレタモノトシテ茲ニ例ヲ舉ゲタノデアリマス、ノミナラズ私ハ茲ニ明言イタシテ置キマスルガ、今日地方カラ參ッテ

運動ニ出掛ケテ來ル、義務教育費増額ノ運動ニ來タ所ノ町村長ナドデモ、親シク話シテ見ルト、私共ノ所ニ來テハ増額ニ御盡力ト云フコトハ餘リ申サヌ、言ハナクテモ御承知デアルカラソレハ申サヌト云フノデ、段々話ヲ進メテ行ッテ見ルト、縱令今度三千万圓、是ガ増額ニナツテ、詰リ四千万圓ノ國庫支出額ガ四千万圓ニ達シヤウトモ、此數年間ニ教育費ト云フモノハ一億八九千万圓ニ達シテ居ル、數年前ニ比ヘルト三倍以上デアリマス、之ニ對シテ四千万圓位國庫カラ出シテ賈ツタ所ガ町村ハ堪ヘラレヌト云フノガ今日ノ實況デアリマス、愈、四千万圓ヤ五千万圓出タ所ガ、非常ナ増額ニナツテ居ルガ、即チ六十圓ノ俸給ノ着ハ七割増九十圓カラニ俄ニシタノデ、到底堪ヘラレヌト云フノガ今日ノ市町村ノ實況デアリマス、ソレニ對シテ如何ニスルカト云フコトヲ段々話ヲ承テ見ルト、詰リ今日百圓取ッテ居ルモノハ四十圓ナリ三十圓ヲ寄付ノ形ニシテ賈ツテ、町村カラ六十圓ナリ七十圓ナリ拂、テ濟マヌヤウナ方法ヲ執ルカ、若クハ之ニ何處カ他ヘ參テ賈ツテ、アトヘ安イ者ヲ入レルカ、是ヨリ外ニ方法ハナイノミナラズ、現ニ陳情ニ來タ町村長ナドノ中ニハ、私ノ村會デハ既ニ問題ガ出タノデアリマス、斯様ナコトヲシヤウト云フコトノ論ガ出テ、將ニソレニ決セムトシタノデ甚ダ苦慮シタノデ、役場員ノ、自分共ノ報酬ヲ皆減ラヌ、役場員ノ費用ヲ減ラヌカラドウカ教員ノ方ヘハ手ヲ着ケテ呉レルナト云フコトヲ漸ク今年ダケハ話ヲ著ケタト云フヤウナ實例ガアルノデアル、所ガ私ガソレニ對シテ申シタ、ソレハ君ノ村會ハ甚ダ下手ナコトヲヤルノダ、村會デ表面サウ云フコトヲ議論シテ將ニ決セヤウトスルカラソレナコトニナルノダラウ、他ノ町村デハ町會ノ表面ノ決議ニシナイデ、村長ヘ交渉シテ、ドウカ此處ノ百圓取ル教員ハ是ハ二十圓ハ寄附ノ形ニシテ賈ヒタ、之ヲ村長ニ於テ宜シク取計ラテ呉レ、斯ウ云フ内交渉デ行クモノハ如何トモスルコトハ出來ナイ、デ是デ押シテ行カウト云フト今日ハ押シテ行カレナイ、是ハ會テ見タ例デアリマスガ、今日既ニ其事實ガ實現シツ、アルノデアリマス、是ガ最も憂慮ニ堪ヘヌノデアリマス、ドウガシテ此學級編成、教員ノ配置ヲ經濟的ニシテ、人數ヲ減ラシテモ一人當リハ相當ノ給料ヲ給シテ行クト云フ方法ヲ執ラスコトガ今日ノ最モ急務デアアル、各學級ニ一人ツツ立派ナ教員ヲ備ヘサセヤウト云フタ所ガ實際出來ナイ、町村ノ實況デアアル、此モ堪ヘラレヌト云フ有様デアアルノデアリマス、今日ニシテ政府ハ茲ニ考テ及ボサレズ、又教員ノ頭ヲ揃ヘル方ヲ主ニスルト云フヤウナ精神ヲ以テ此法ヲ布カレタナラバ、安イ教員ヲ頭ヲ揃ヘルト云フヤウナ結果ヲ來スコトハ火ヲ賭ルヨリ明カナリト云フコトハ、私ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘヌト存ジマスルガ、茲ニ其事

ヲ述ベテ置キマシテ、之ヲ今後ノ實況ニ徴スル外ハナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ又此法案ハ元來ガ教員給ヲ目安ニシタノデアアルカラ、何處マデモ教員關係ヲ以テ法律ヲ制定シナクチャナラヌト云フヤウナ御論モアリマスルガ、是ハ私ハ決シテサウ云フ意味ハ有タヌト思フ、國庫ガ支出スルノニ教員費全體ヲ目安ニスルト弊ヲ生ズルカラ、教員數ヲ押ヘヤウト云フニ過ギナイノデアリマシテ、町村ノ實際ニ參ッテモ詰リ町村費ヲ補助スル形ニナル、連帶支辨ニナルノデアリマスカラ、必ズシモ教員ニ關係ヲ有ツニ及バヌト考ヘルノデアリマス、併シ此事ニ付テハ最早サウ細カクハ申上ゲマセヌ、唯今申シマシタ町村ノ實況ガ甚ダ憂フベキ景況ニ陥ルデアラウト云フコトヲ私ハ信ジテ疑ハヌノデアリマスカラ、最後ニ此點ダケヲ明カニ申述ベテ置キマス

○委員長(侯爵須賀正詔君) 最早時間モ移リマス、採決ヲ致シマス、江木サンノ修正意見トシテ第三條ノ各、其半額ヲ云々ト云フ所ヲ教員數ヲ五分ノ一ニシ兒童數ヲ五分ノ四ニスルト云フ御意見デアリマス、此御意見ニ賛成ノ御方ハ手ヲ御舉ゲテ願ヒマス

(舉手者 少數)
○委員長(侯爵須賀正詔君) 否決セラレマシタト心得マス、ソレハ本案ニ賛成ノ諸君ハ手ヲ御舉ゲテ願ヒマス

(舉手者 多數)
○委員長(侯爵須賀正詔君) 大多數デ本案通りニ決シマシタ、是ニテ散會イタシマス

午後五時三十一分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵須賀 正詔君
副委員長 和田 彦次郎君
委員 子爵敷 篤麿君
子爵八條 隆正君
大久保 貞長君
木場 千之君
江木 季隆君
男爵清水 資治君
木内 重四郎君
田所 美治君
山田 敏君

政府委員

文部次官 赤司 鷹一郎君
文部省普通學務局長 山崎 達之輔君
文部書記官 伊藤 仁吉君

國務大臣

文部大臣 鎌田 榮吉君

大正十二年三月二十六日印刷

大正十二年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局